国交正常化45周年　中国特集

常夏のアイランドリゾート 中国海南省

今年は日本と中国の国交正常化45周年。両国でさまざまな記念事業が行われている。さらに中国では多くの日本人観光客を呼び込もうと、省や地域ごとのPR活動も盛んだ。国交正常化45周年中国特集。今回は〝常夏のアイランドリゾート〟海南省を取り上げた。

省都海口、〝海の果て〟三亜、世界の首脳が集うボアオ

亜龍湾ビーチ

海口

中国本土の南に浮かぶ海南島。その全ての領域が海南省で、1988年、広東省から分離した中国で最も新しい省だ。省発足と同時に経済特区、2010年には「国際観光島」に指定されている。

海口市は海南省の省都で、人口約200万人。島の最北部にあり、瓊州（けいしゅう）海峡をはさんで大陸がすぐ目と鼻の先。大陸と島を結ぶ交通の要衝として古くから栄えた。

亜熱帯海洋気候に属し、四季があるものの、冬も平均気温約17度と過ごしやすい。ここと南部の三亜市を拠点に島の観光を楽しむのもよい。

●暇日海灘（ホリデービーチ）

市の中心地近くにある海口市を代表する海浜リゾート。

長さ6キロのビーチで、海水浴や、各種のマリンスポーツを楽しめる。

●五公祠

唐と宋代に政権抗争に敗れ、海南島へ島流しになった5人の高官をまつる祠。学圃堂、五公精舎など、明代からの古い建築群がある。

●海瑞墓園

海口市出身で、明代の著名な政治家、海瑞（1514～1587年）の墓。剛直で権威におもねることなく、「海春天」（清廉潔白な官吏）と呼ばれた。

海口市郊外の濱涯村にあり、国の重要文化財に指定されている。

●火山口公園

海口市中心から15キロにある面積108平方キロの広大な公園。数回の噴火があった休眠火山群。域内に数十の火山口、溶岩流の痕跡が点在している。

2004年、国の国家地質公園（ジオパーク）に指定された。

●東寨港紅樹林（マングローブ）自然保護区

海口市中心から30キロにある中国初のマングローブ保護区。

海岸線50キロにわたり保護区が延々と続く。観光客は小舟に乗り、マングローブの海上森林を鑑賞できる。

三亜

海南島最南端、省第2の都市三亜市は、人口55万人。省都海口市から島内を循環する高速鉄道で約2時間。

海口が亜熱帯気候なのに対し、三亜は熱帯海洋性モンスーン気候に属し、年間平均気温26・2度、冬も20度を下回らない常夏の気候だ。

市内には国際級のビーチリゾートが整っており、海水浴や各種のマリンスポーツを楽しめる。

●亜龍湾ビーチ

三亜市中心から東南へ25キロにあるビーチリゾート。1992年、国の認可を得て造られた。総面積18・6平方キロで、海水浴場、別荘、会議センター、高級ホテル、レジャー村、ゴルフ場などを備える。

全長15キロの弓形のビーチは砂が白く、海の透明度も抜群。

●大東海ビーチ

三亜市中心から東へ3キロ。市街地に近いビーチで、三亜で最も早くから開発された。

訪れる観光客も多く、最近は長期滞在の外国人に人気という。

●天涯海角風景区

市の中心から北西の海岸沿いにある風景区。

「天と海の果て」という名前が付いたこの場所は、海岸に鎮座する巨石に「天涯」「海角」「南天一柱」「海判南天」など、歴代の文人墨客の詩文が刻まれている。

●鹿回頭山頂公園

大東海ビーチと三亜湾ビーチの間の岬に小高い山がそびえている。標高285メートルの山頂は公園として整備され、三亜市街を一望できるスポットとして人気だ。

この地に伝わる少数民族のリー族と鹿の伝説にちなんだ「鹿回頭」の彫像は三亜のシンボルになっている。

●南山文化観光地

三亜市の西部にある国家5A級の景勝地。海に面し、「海上観音聖像」「不二法門」「南山寺」などの見どころがある。

海上観音聖像は海上の小島に立つ高さ108メートルの巨大な観音像。

西コース

海口から三亜まで、島の西側を回る西コースは、澄邁県、臨高県、儋州（だんしゅう）市、昌江リー族自治県、東方市、楽東リー族自治県などを巡る。

●東坡（とうば）書院

儋州市にある北宋時代の詩人で政治家の蘇東坡の住居。国の重要文化財に指定されている。

東坡が書いた詩文や書画が展示されている。

●大田坡鹿（ターミンジカ）自然保護区

東方市にある、敷地面積133・2平方メートルの国家級自然保護区。ジャイアントパンダ、コバナテングザルとともに、国家1級保護動物に指定されているターミンジカが400匹余りいる。

展望塔から鹿の群れを眺めることができる。

中央コース

海口から三亜まで、島の中央を通る中央コースは、屯昌県、瓊中（けいちゅう）リー族ミャオ族自治県、五指山市、保亭リー族ミャオ族自治県などを巡る。

●五指山

五指山市の海南島中央部に位置する島の最高峰でシンボル。峰がのこぎり状に切り立ち、5本の指のように見えることからこの名が付いた。5指のうち、人差し指に当たる峰が標高1867メートルと最も高い。

登山ができ、主峰西側の谷あいでキャンプを設営できる。

●呀諾達（ヤノダ）雨林文化観光地

三亜市中心から北へ35キロの保亭リー族ミャオ族自治県にある、自然保護区の中に作られた熱帯雨林公園。

珍しい動物に出会える遊歩道や、空中滑空などのアクティビティがある。

●槟榔（びんろう）谷

三亜市中心から北へ28キロの保亭リー族ミャオ族自治県にある、リー族、ミャオ族の民族文化村。

少数民族の伝統的な建物、工芸、芸能を楽しめる。

●尖峰嶺自然保護区

楽東リー族自治県にある、国家クラスの自然保護区。

尖峰嶺の主峰、標高1412メートルから1200メートル余の垂直分布帯に7層の類型の異なる植物生態体系が分布している。

国際級のリゾート整う 島最南端、第2の都市

島と大陸結ぶ交通の要衝 ビーチや文化遺産が充実

海南島の東に浮かぶリゾート島「分界洲」

五指山

保護動物「ターミンジカ」を観察

島のシンボル五指山 登山、キャンプも

槟榔谷

東コース

海口市から島南部の省第2の都市、三亜市まで、「東」「西」「中央」の各コースが設定されている。

東回りのコースは文昌市、瓊海（けいかい）市、万寧市、陵水リー族自治県を経由。それぞれに見どころがある。

●博鰲（ボアオ）風景区

海口市から車で2時間半。瓊海市にあるこの風景区は、万泉河、竜滸（りゅうこん）河、九曲河という三つの川が合流する場所。

小さな漁村だったが、2001年、アジアと豪州の首脳が参加する国際会議「アジア・フォーラム」の恒久開催地となり、一躍脚光を浴びた。海に点在する島々の景色が美しい。

●万泉河渓谷急流下り

全長163キロの河川、万泉河の中・上流で急流下りが楽しめる。

熱帯の植生がうっそうと繁る自然の中で、スリル満点のアクティビティを楽しめる。

●興隆温泉

万寧市の郊外にある温泉地。温泉が1970年後半に発見され、以来、海口―三亜間の休憩地点として発展した。

10数カ所ある源泉は温度約60度。ミネラルを豊富に含み、皮膚病や関節炎、神経衰弱に効くという。

博鰲（ボアオ）アジア・フォーラムの恒久開催地

アジア・フォーラム 恒久開催地で脚光

島一周の高速鉄道開業 島内の移動が便利に

海南島を一周する高速鉄道「海南島環島高鉄」が2015年に開通。島内の移動が一層便利になった。

既に海口―三亜間の東ルートが開業しており、新たに西ルートも開業したもの。高速鉄道の環状線は世界初という。

最大時速200キロで、同区間が東ルート約2時間、西ルート約2時間半。

海南省地図
（海南島環島高鉄路線図）

中国国家観光局駐日本代表処